

北の大地で酪農青年と交流しませんか

～北海道別海町で開催される「菊と緑の会」に独身女性の参加者を募集～

枚方市の友好都市・北海道別海（べつかい）町は、今年も酪農青年と独身女性の交流会「菊と緑の会 in べつかい」を開催する。今回は、10月11日（金）～14日（月・祝）の3泊4日で開催、同町では独身女性の参加者を募集している。

★北海道東部に位置する別海町は、広大な原野を利用して約11万頭の乳牛が飼育され、牛乳をはじめバター、チーズの生産など日本屈指の酪農郷として知られている。東はオホーツク海に面し、サケ、マス、ホタテ、北海シマエビなどの漁業も盛ん。面積は、1319.63平方キロメートルで、人口は約1万5千人。酪農に746戸、漁業に345戸が携わっている。

★別海町では1970年代から酪農後継者のパートナー不足が深刻化。枚方市から同町に嫁いだ女性（神部久美子氏 昭和49年6月結婚）が、里帰りの際に枚方市役所を訪問し「酪農の楽しさと後継者のパートナー不足」を訴えたのを機に、枚方市と同町が協力し、昭和59年に初めての交流会となる「菊と緑の会」が開催された。以来、交流会は毎年開催され、これまでの35回で629人の女性が参加し、このうち93組のカップルがめでたくゴールインしている。

★別海町に嫁いだ女性たちは、「牛の世話は大変だけれど、素晴らしい自然の中で家族と一緒に働けることに魅力を感じた」「人情あふれる温かな町の様子が、別海町での生活を決心させた」などと、交流会に参加した感想を話している。

★36回目を迎える今回の交流会では、雄大な自然の中で、酪農研修牧場で酪農体験を行い、酪農青年や地域の人と交流を深める予定。

★こうした交流会がきっかけで、枚方市は別海町と昭和62年2月に友好都市提携を結んだ。枚方市では、菊と緑の会のほかにも、中学生が隔年で夏休みに互いのまちを訪問し合う「少年少女ふれあいの翼」や枚方市友好・交流都市物産展など別海町との交流の輪を広げている。

★参加費用は3万円。募集要項・参加申込書の請求は、住所・氏名・電話番号および「菊と緑の会」資料請求と記し、はがきかファクス、もしくは電子メールで、枚方市産業文化政策課へ。電話請求可。また、市ホームページからの取り出しも可。応募方法は、参加申込書を郵送で同課へ。8月5日消印有効。募集10人。参加者説明会を9月5日(木)に実施予定。

★「菊と緑の会」過去の参加者

平成 28 年度第 33 回「菊と緑の会 in べつかい」に参加。

「菊と緑の会」でカップルとなり、その後お互いに行き来して交際を続け、平成 30 年 2 月に結婚。

男性 氏名：齊藤 皓（さいとう ひかる）（30 歳）
所有農地面積 100ha、乳牛飼養頭数 125 頭

女性 氏名：（上田） 明（うえだ あかり）（31 歳）

女性のコメント：

自然が好きで憧れていたもので、自然の中で楽しく過ごしています。

大阪では時間がまちまちの生活でしたが、こちらに来て規則正しい生活リズムにも慣れました。

遠く離れたところに来て、酪農を知らない私を家族や近所の人達が温かく迎えてくれ、今はいろいろ相談できる人も出来ました。

将来は、ロボットの導入により労働力の軽減を図り、秋に新しく誕生する家族と一緒に両親が築いてきた牧場をしっかりと継承したいです。

★参考

枚方市は国内外の都市と友好都市提携を結び交流を進めています。

【海外友好都市】

中華人民共和国 上海市 長寧区 《1987(昭和 62)年 12 月提携》

オーストラリア連邦 クイーンズランド州 ローガン市《1995(平成 7)年 3 月提携》

大韓民国 全羅南道 靈岩郡《2008(平成 20)年 3 月提携》

【国内友好都市】

高知県四万十市《昭和 49 年 4 月提携》

北海道別海町《昭和 62 年 2 月提携》

沖縄県名護市《平成 9 年 7 月提携》

この内容に関するお問い合わせは…

○枚方市役所 産業文化部 産業文化政策課

〒573-8666

枚方市 大垣内町（おおがいとちょう） 2 丁目 1 - 2 0

電話 072-841-1221(代表) E-mail sanbun@city.hirakata.osaka.jp

○別海町役場 産業後継者対策相談所 電話 0153-75-2111 (代)